

内外交差点

ダイレクトに全国と繋がるラインに X Taxiとは何者か?③

吉川 永一氏 (X Taxi 監事) 3/12人目



X Taxi 参加に関して、まず私自身のタクシーとの関わりから振り返ってみたいと思います。

私は三和交通に26歳からお世話になり、29歳で代表取締役役に就任しました。当時、先代代表の父が59歳で健康でしたが、その時を境にタクシーに関することを全て任せていただけました。まだ経験が浅く分からないことだらけであったのですが、早いうちから責任を背負えたことに大きな価値を感じております。多くの挑戦をし、浮かれ、間違え、失敗して、反省しました。ですがその糧や頼もしい社員の方々に囲まれ、今日も会社を維持することが出来ております。

世代やメンバーが変わると一時的に問題点が浮き彫りになったり、ハレーションが起きたりはしますが、結果として必要な通過過程であったと感じております。そんな背景もあったおかげかDXや新卒採用は割と早く進めることが出来ました。早い段階で独り立ちさせた父の慧眼に素直に感服すると共に感謝しております。

X Taxi 立ち上げ参加の理由は二つあります。一つ目は、自分の就任の実体験から、試行錯誤しながら組織を作っていくことに面白さを共感したことが理由です。ダイレクトに全国の事業者様と意見交換する機会をもったことがありませんでしたので、グループウェアやLINEグループで常に情報共有が出来たことはコロナ渦中においても大変助けになりました。

二つ目に、当時は外国人採用推進のために各所でお話を聞いていて、火の着けどころを探していましたので渡りに船という下心でありました。2015年に30万人以上いたタクシー運手者数は2021年には22

万人まで減少していますが、コロナ禍を終えて供給不足はさらに進んでいきますので様々な施策が早急に必要になっていくかと感じております。X Taxi内においても度々各地域の取組を勉強させていただいております。

X Taxiでは現在、理事会、例会、定期的なオンラインセミナー、各委員会、グループウェアとLINEグループでの情報共有が主たる活動となっております。オンラインセミナーでは外部講師の方にご登壇いただき、議員の方やテック系企業、タクシー業界に特化された税理士や社会保険労務士の方にご講演頂いております。組織としての形式や格式はまだ足りていませんが、それがフットワークの軽さにつながっているように実感しています。位置づけとしては全タク連の勉強会のようなポジションではないかなと個人的に考えております。

タクシー業界は新型コロナウイルスの影響で大きな打撃を受けており、総売り上げは未だ戻りきっているとは言えません。また、乗務員不足やコスト高騰なども深刻な問題です。このような状況の中で、X Taxiはタクシー業界の課題に立ち向かっていきます。新規加盟会社の募集も随時行っていますので興味あれば是非お問い合わせください。いつでも気軽にLINEから質問しあうことの出来る気軽な仲間でございます。

以上、私のX Taxi参加理由と思いにあります。最後までお読みいただきありがとうございます。

▶▶▶Next→東江優成理事



一般社団法人 X Taxi

問い合わせ先: info@xtaxi.jp

H P: <https://www.xtaxi.jp/>

